



射水市立小杉小学校 学校だより

杉っ子

第7号

令和5年11月8日

大人の関わり

私が入学式で保護者の皆さんにいつもお願いすることがあります。それは、帰宅した子供に「今日は学校でどんな楽しいことがあった？」と笑顔で聞いてくださいということです。子供は、よいことに目を向けて明るく前向きに生活できるようになります。逆に学校で嫌だったということばかり真剣に聞くと、子供は嫌なこと探しをするようになります。

また、教職員には、子供達一人一人のよさを認め伝えることをいつもお願いしています。そして、相手の気持ちを考えて行動するよきモデルになり、子供達に寄り添ってほしいと言っています。

子供は、素直で純粋な存在です。大人との関わりの中で多くのことを学び、成長していきます。世の中のルール、人との関わり方、距離感など…。そして、子供達は皆、「よい子でいたい」と思っています。特に、家の人にはほめてもらいたいのです。

例えば、「叱られるからやめなさい」と言い続けると、「叱られなかったら、見つからなかったらよい」と、間違っただけを覚えるでしょう。「あなたも悪いけど、友達も悪い」と言うのと、「友達も悪いけど、そんな時はあなたも～するといいいよ」と言うのとはどうでしょうか。前者では原因や責任を外にばかり求めるようになるでしょうし、後者では経験を通して、ソーシャルスキルを身につけていくでしょう。

そして、大人が子供を叱るということも当然あります。その時に叱った理由、叱る方も悲しいことをしっかり伝えることが必要です。あなたが大切だから叱るのだということを伝えることこそ重要です。

目先のことにとらわれることなく、子供にどんな力をつけていきたいかということを忘れず、私達大人の関わり方を考えていきましょう。



人と関わる喜び「異年齢交流活動」



<杉っ子ウォークでふと見かけた子供の姿から>

低学年が「疲れた～」と言いながらも笑顔で歩ききっていました。みんなでやると少々辛いこともできたりしますね。体力向上のヒントを感じました。また、高学年のお兄さんのひざに抱っこしてもらい、「はいはい、暇ながね、分かったよ～」となだめてもらっている子供がいました。子供同士ならではのやり方で、指示の要素がない受容的な言葉をかけていました。子供は時折、私の先生です。

上の文は、週案に書かれていた教務主任のメッセージです。

遊び等を通して、「人と関わることって楽しい」「人と関わることって苦痛なことではない」と感じるころから「人との関わり」は始まり、「社会性の基礎」を形づくっていくと言われます。また、そうした関わりを通して、進んで協力できた、自分から働きかけができた、誰かの役に立つことができた、という集団の一員としての自信や誇りを得ることができます。

杉っ子たちも、学校生活の中でそのような経験を積み重ねています。



射水市名物！ カニ給食

今年も新湊漁業協同組合のご厚意のもと、カニ給食を行うことができました。6年生は、一人、一杯のカニをいただき、「どこから食べるの？どうやって足を取るの？」と、目を白黒させながら、射水の味に舌鼓を打ちました。

カニを提供頂いた組合、配送等の手配を頂いた教育委員会の皆様、ありがとうございました。

杉っ子ステージ発表会

温かい拍手、これまでの励まし、ありがとうございました

子供たちが互いの努力を認めながら自分の成長を振り返り、意欲を高めることをねらいとし、ステージ発表会を行っています。学習したことを劇にしたり、体育や音楽等、教科の内容を取り入れたりしながら、発表しました。台本通り演じるのではなく、自分たちで創り上げる発表は大変な面もありますが、子供たちの成長につながると考え、どの学年も工夫を凝らして取り組みました。



<1年 おおきなかぶ>

・せりふを大きな声で言えました。クラス全員ががんばっていました。成功の拍手ももらえてうれしかったです。

<2年 小杉のすてき教えます！ ～すてきなたびへ しゅっぱつ!!～>

・マルチにいる時、2年生みんなで「エイエイオ～」と言ったからやる気が出ました。そのおかげでみんなで楽しくできたし、はっきりゆっくり大きな声でできてうれしかったです。

<3年 Jump!! Spin!! Dancing!! ～最強で無敵な3年生～>

・緊張したけど、目当てを意識しながらがんばりました。失敗もあったけど、あきらめないでやったら成功してうれしかったです。持久走の時に転んだりしても最後まであきらめずに走りたかったです。4年生の発表会でもがんばりたいです。

<4年 守ろう地球環境！ ～わたしたちにできること～>

・せりふをはっきり、大きな声で言えました。本気でがんばりました。歌は、ピアノをよく聴き、きれいな声で歌えました。これからも地球温暖化を止めるために協力してがんばりたいです。

<5年 Respect ～杉っ子リスペクトへの道～>

・大きな声で恥ずかしがらずにできて、勇気をもてる自分になったと思いました。自分たちで創り上げる杉っ子ステージ発表会を心を一つにしてがんばることができました。

<6年 本当の宝物は？>

・練習や本番でついた力は、恥ずかしがらない力です。ぼくは発表するとき、いつも自分から手を挙げずに恥ずかしがっていたけれど、練習でみんなに見てもらったり、本番でたくさんの人に見てもらったりすることで、自分から手を挙げることも増えてきました。

・今までで一番よい劇になりました。何より自分たちがすごく楽しめたのでよかったです。劇の練習で私はみんなと協力する力が強くなったと思います。友達同士で見合ってよいところも悪いところも言い合ってきたからです。これからもみんなと協力して、いろんなことにチャレンジして楽しんでやりたいです。